



『大人に贈る子どもの文学』 猪熊 葉子 著 岩波書店 刊
 『世界で読み継がれる子どもの本 100』 コリン・ソルター 著 原書房 刊
 『本へのとびら』 宮崎 駿 著 岩波書店 刊
 『穴』 ルイス・サッカー 著 講談社 刊
 『魔女の宅急便』 角野 栄子 作 福音館書店 刊

児童文学研究者である著者は、英語圏の優れた作品や評論の翻訳に長年携わってきた。子どもの文学価値を明らかにして、大人たちに知ってもらいたいとの願いから生まれた一冊。

19世紀から21世紀までの古典からダークファンタジー100点を紹介。取り上げた本の児童書としての価値、後の児童書への影響、将来に残したい本などをエッセーのように読むことができる。

アニメーション映画監督・宮崎駿が幼い頃から親しんだ岩波少年文庫を紹介する。おすすめの50冊、自身の読書体験、児童文学の挿絵の魅力、本と子どもへの思いが伝わる児童書の手引書。

イエルナッツ家は代々不連続き。4代目のスタンリーは無実の罪で砂漠の少年院に送られ、地面に穴を掘る毎日。曾祖父、祖父の過去とスタンリーの現代が巧みに織りなす物語。

魔女の母と普通の人間の父の間に生まれたキキは13歳。ラジオをぶら下げたほうきに黒猫のジジと乗り、魔女になるため独り立ちの旅に出発。海辺の大きな町で宅急便屋を始めて…。

図書館だより ☎22-0002

Vol.206 「児童文学をあなたへ」

児童文学は子どもだけのものではありません。優れた作品は大人をも魅了します。児童文学には、「人生は大変なこともあるけれど、生きるに値する」というメッセージが込められているからではないでしょうか。困難な状況でも一筋の希望があり、物語の主人公や登場人物の大人たちも興味深く描かれています。幼い頃に読んだ作品を読み直し、そのころの風景を思い出すかもしれません。秋の夜長に、児童文学を楽しんでみませんか。

おはなし会(絵本などの読み聞かせ)
 毎週水曜日 10時30分～11時(対象:0歳～2歳)
 毎週土曜日 10時30分～11時(対象:幼児～小学生)

図書館の最新情報を発信しています

大崎市図書館
 エックス X (旧Twitter)



10月の移動図書館「きらり号」

古川地域	4日(水)・18日(水)	9:45～10:30 清滝地区公民館
松山地域	6日(金)・20日(金)	9:50～10:35 松山駅前区集会所 11:10～11:55 下伊場野水辺の楽校駐車場
	13日(金)・27日(金)	9:50～10:35 松山公民館
三本木地域	6日(金)・20日(金)	13:40～14:25 三本木総合支所駐車場 14:50～15:40 南谷地集会所
鹿島台地域	13日(金)・27日(金)	11:05～12:05 鹿島台総合支所駐車場 13:25～14:25 鹿島台公民館 14:55～15:25 旧鹿島台第二小学校
	4日(水)・18日(水)	11:00～11:45 真山地区公民館 13:40～14:25 有備館の森公園駐車場 14:50～15:35 ウジエスーパー岩出山店
岩出山地域	11日(水)・25日(水)	13:30～14:15 あ・ら・伊達な道の駅 14:45～15:30 スーパーセンタートラスト岩出山店
	11日(水)・25日(水)	10:10～10:55 鳴子総合支所駐車場 11:20～12:05 川渡地区公民館
鳴子温泉地域	12日(水)・26日(水)	10:40～11:25 鬼首地区公民館 13:05～13:50 中山コミュニティセンター 14:15～15:00 湯めぐり駐車場
	17日(水)・31日(水)	10:35～11:35 大貫地区公民館 13:05～14:00 沼部公民館 14:25～15:20 ウジエスーパー田尻店

※悪天候などの事情で、運行を中止・変更する場合があります。

持続可能な農業推進に関する協定を締結しました



▲田植え後の水田で、稼働するアイガモロボ

8月10日、有機米デザイン株式会社と「持続可能な農業推進に関する協定」を締結しました。

本協定は、有機米デザイン株式会社が開発した自動抑草ロボット「アイガモロボ」などのスマート農業を活用した、農業や化学肥料に頼らない環境保全型農業の推進と米の販路拡大を目的としています。

農業を取り巻く情勢が大きく変化している中で、環境負荷低減と省力化を図るスマート技術を導入し、グリーンな栽培の推進により自然と共生する農業を進めるため、市では「大崎市有機農業・グリーン

化推進協議会」を設立しました。協議会では、同社からの協力を得ながら、スマート農業の効果的な活用について検証を重ねています。

本協定により、さらなる環境負荷の少ない水稲栽培の普及に加え、同社が持つ販売ネットワークや流通経路を生かし、生産された有機栽培米などを海外を含めた市場に流通することで、農家の所得向上も期待されます。

相互の連携を図りながら、世界農業遺産「大崎耕土」の豊かな自然環境を維持した、持続可能な農業の発展につなげていきます。

可能な農業推進に関する協定式



▲左から、伊藤市長、有機米デザイン株式会社代表取締役 山中氏

まちの話題や出来事、ニュースをお届けします！

CITY TOPICS

健康経営の推進および働く世代への健康づくりに関する連携協定を締結しました



▲左から古川商工会議所会頭 村田氏、伊藤市長、アクサ生命保険株式会社仙台支社長 佐藤氏

8月22日、アクサ生命保険株式会社と「健康経営の推進および働く世代への健康づくりに関する連携協定」を締結しました。

本協定は、商工会議所の共済制度に取り組み、事業所に対しての健康経営の推進、企業で働く従業員とその家族の健康づくりなどを継続的に展開しているアクサ生命保険株式会社と、市民の健康増進や市民サービスの向上を図ることを目的としています。

アクサ生命保険株式会社仙台支社長の佐藤浩氏は、「協定を基に大崎市とさらなる



▲協定書への署名

連携・サポートをしていきたい」と述べました。

伊藤市長は、「働き盛り世代に対する健康づくりがさらに前進することを期待している」と述べました。

本協定に基づき、「市内企業における健康経営の普及推進」「働く世代の健康づくりの推進」「大崎市健康増進計画に掲げる取り組みの周知」「大崎市役所における健康経営の推進」「大崎市が企画するヘルスツーリズムの普及」の5項目について、相互に連携して取り組んでいきます。